

(様式2)

2018年度 教育活動活性化提案事業 実施結果報告書  
( 中間報告 ・ 最終報告 )

2019年3月26日

福岡女子大学学長 殿

申請者

所属名

国際化推進センター

職名

副センター長・講師

氏名

高原芳枝



事業名 (テーマ)	国際教育プログラムの学習成果の検証と質保証		
事業実施者及び 事業分担者	高原芳枝、新開章司、川邊理恵、馬場広希、太田聡、大内素智子、カルディナル・グラシタ	大学院生及び 学外協力者等	

活動内容及び成果(必要に応じ資料、写真等を添付すること)  
 ※この欄の記載は、大学ホームページ等にそのまま掲載する予定です。  
 (活動内容)  
 本学が実施する海外留学プログラムの効果と参加学生の学習成果を、留学前後の学生の意識変化、及びTOEFLスコアの変化の観点から客観的に検証した。

1. 留学前後の意識変化  
 海外留学参加者を対象として学習成果を客観的に測定するための心理分析テストを実施し、海外留学体験者の留学前後の意識変化を調査した。分析には、ミシガン州立大学が開発した心理分析テストツール「BEVI」の日本語版を利用した。BEVIは、収集データを6つの評価指標：(1)中核的欲求の充足、(2)不均衡の許容、(3)批判的思考、(4)自己とのかかわり、(5)他者とのかかわり、(6)世界とのかかわり、を用いて分析し、意識変化を可視化することができる。

2. 英語能力検定スコアの変化  
 交換留学派遣学生に帰国後1か月以内にTOEFL-iBT公式模擬テストを受験させ、留学前に取得したスコアと比較することで、総合的英語運用能力の変化を測定し、留学の効果を検証した。

3. 調査対象プログラム  
 ・ 留学前後の意識変化：2018年度夏季に実施した海外短期留学プログラム(交換留学を除く)  
 ・ 英語能力検定スコアの変化：2018～2019年度派遣交換留学

4. 調査期間  
 ・ 留学前後の意識変化(BEVI)  
 留学前テスト：7月31日 / 留学後テスト：プログラム終了後(8月～10月)  
 ・ TOEFLスコアの変化(TOEFL-iBT模擬テスト)  
 第1回：9月18日～20日 / 第2回：3月19日

(成果)  
 1. 調査結果：留学前後の意識変化  
 体験学習型と語学研修型のタイプ別結果と全夏季海外短期留学プログラム結果をBEVIの17尺度において比較した。全プログラムは、体験学習型と語学研修型の両タイプの平均値が表れるが、体験学習型と語学研修型には、いくつか興味深い差異がみられる。  
 二つのタイプの研修を比較してみると、総じて、体験学習型の参加者には、論理的思考、思考の柔軟性、分析力、多様性の許容、感情的成熟、世界との共鳴等に関し、良好な変化が見られる。これは、体験学習型の特色である現地の人々との接触や共同作業など、実際の活動体験を通して学びを促進する教育形態の有効性を示しているといえる。また、今回は学年別のデータ分析は行っていないが、参加者中の3、4年生の割合が、体験学習型は62%、語学研修型は9%であることも、影響していると考えられる。  
 一方、語学研修型には、体験学習型のような成長は認められなかったが、主に、5.基本的な開放性、7.基本的な決定論、8.社会・情動の理解、11.自己認識において上昇がみられた。また、2.欲求の抑制及び3.欲求の達成では、体験学習型よりも上昇幅が大きく、4.アイデンティティの拡散においては顕著な上昇を示している。これらの結果に対する一つの解釈として考えられるのは、語学研修型においては、学生たちは、普段生活している環境とは大きく異なる広い世界に初めてその身をおくことで、それまで抑圧されていたと思われる自己を解放しようとする考え方に気づき、それと同時に、自分のアイデンティティを考える経験をしたのではないかと、いうものである。  
 これらの結果を踏まえ、二つの短期留学のタイプの特徴を活かした新規海外短期研修の開発や、既存研修の改良に取り組んでいくことが重要である。

2. 調査結果：英語能力検定スコアの変化  
 留学後の能力測定には全員TOEFL-iBTを受験させているが、留学前のスコアは、TOEFL-ITPまたはIELTSのものであるため、ETSがウェブ上で公開する換算表を用いて比較した。TOEFL-ITPからTOEFL-iBTへの変換は実質的スコアより高く換算されているため、ここでは、IELTS受験者のスコアの変化を参考とした。その結果、ほとんどのケースで10～20ポイントの伸びを示している。

※別添「国際教育プログラムの学習成果の検証と質保証報告書」に詳細を報告する。



事業費の交付決定額(円)

500,000 円

事業費の決算額(円)(領収書を添付すること)

499,980 円

事業費の決算額の内訳(円)

費目	品名、仕様など	金額
消耗品費		
印刷製本費		
旅費交通費	システム導入・使用説明ワークショップ講師旅費 源泉徴収	26,991 3,069
通信運搬費		
備品費		
その他	BEVI-j 年間使用料金 TOEFL公式模擬テスト使用料金	336,720 133,200
合 計		499,980

※費目等は適宜追加・削除すること